

*Speciality for Customer*

PS-Innovation



2015年3月期  
第2四半期決算説明会

2014年11月21日

株式会社プロシップ

代表取締役社長 今泉 智

JASDAQ  
3763

# 会社概要

社名	株式会社プロシップ (JASDAQ市場 証券コード：3763)
----	---------------------------------

設立	1969年4月
----	---------

資本金	431百万円
-----	--------

代表取締役	会長 鈴木勝喜 社長 今泉 智
-------	--------------------

従業員数	204名 (連結218名)
------	---------------

事業内容	パッケージシステム開発販売 受託開発 運用管理
------	-------------------------------

グループ企業	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海
--------	-----------------------------------

(2014年9月末時点)

沿革	
----	--

1969年4月	システムコンサルを主要業務として、資本金150万円にて設立
1978年6月	会計システムパッケージ『ASPAC- I』を開発・販売
1980年3月	総合固定資産管理システムパッケージ『FASPAC- I』を開発・販売
1994年7月	総合情報システム『ProPlusシリーズ』を開発・販売
2000年1月	日本オラクルCAI製品として認定『ProPlus固定資産システム』
2003年12月	業界に先駆け『ProPlus減損会計システム』を開発・販売
2005年3月	ジャスダック証券取引所(現JASDAQ市場)に上場
2005年4月	中国大連市にプロシップ大連設立
2006年5月	株式会社プロシップフロンティア設立(日本バイナル社より営業譲渡)
2009年10月	資産除去債務対応版『固定資産システムV5.2』を開発・販売
2010年11月	IFRS対応版『ProPlus固定資産システムVer5.3』を開発・販売
2011年4月	受託・運用管理等事業を子会社(株)プロシップフロンティアに事業譲渡
2011年10月	ProPlusクラウドサービス「ProPlus for C-x」を提供開始
2012年4月	ProPlusグローバル対応 本格展開開始
2013年4月	中国上海市にプロシップ上海設立
2013年8月	現物管理ソリューション「ProPlus Pit」開発・販売
2013年10月	賃貸借契約管理システムパッケージの新ソリューションを開発・販売

**I 2015年3月期 第2四半期連結業績**

**II 2015年3月期 通期連結業績予想**

# 2015年3月期 第2四半期 決算ハイライト

## 対前年同期比 売上高7.2%増収、経常利益145.9%増益

- 投資マインドの改善により、案件数が増加したことから、増収となった。
- リリース前の作業が集中した前年に比べ、研究開発費が減少し、増益となった。

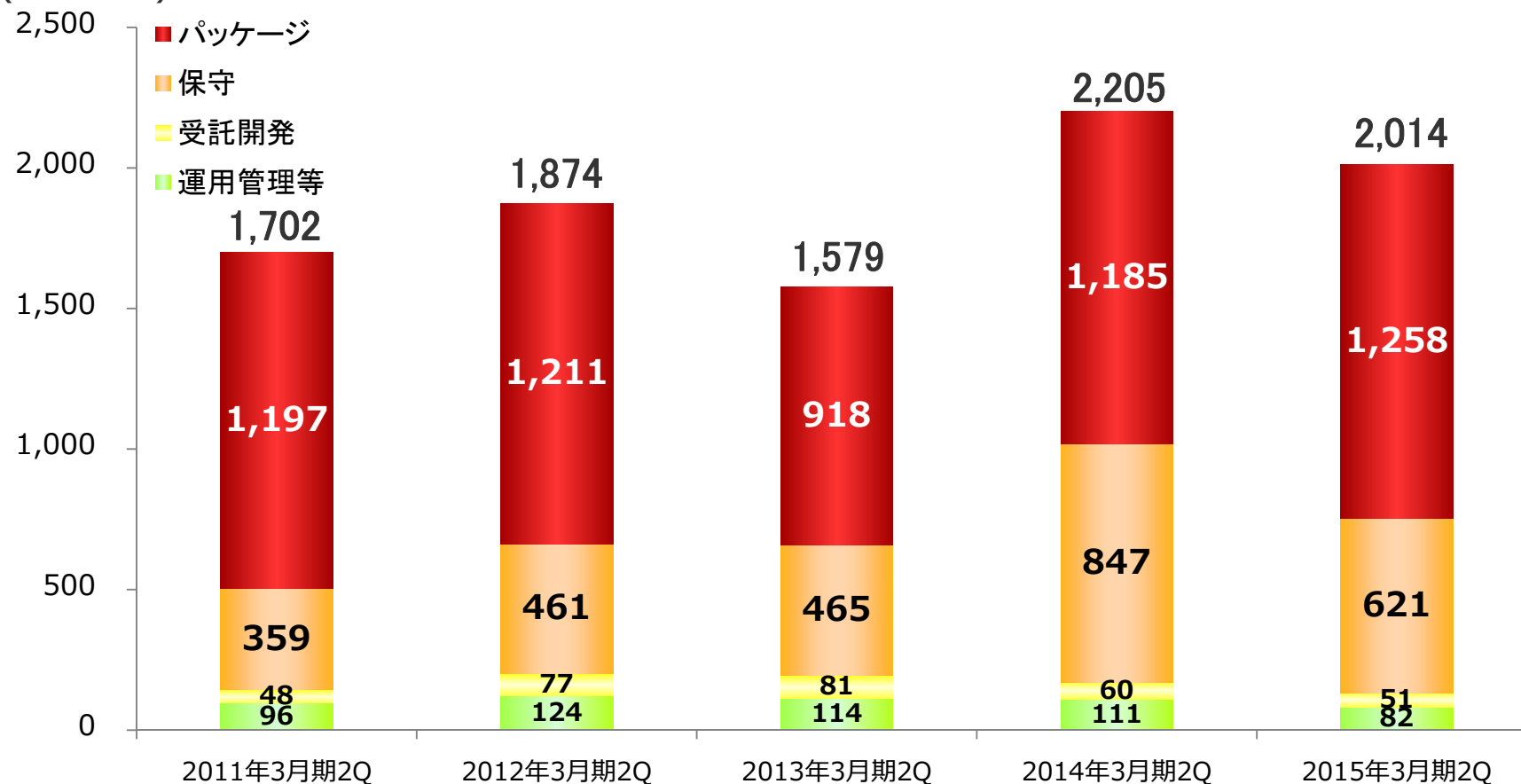
(単位：百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,498	1,605	107	7.2%
売上原価	678	679	0	0.1%
売上総利益	819	925	106	13.0%
販売管理費	630	460	▲169	▲26.9%
営業利益	189	465	275	145.6%
経常利益	192	472	280	145.9%
経常利益率	12.8%	29.4%	-	-
当期純利益	111	301	190	170.6%

# 第2四半期 品目別受注高の推移

- 主力であるパッケージにおいて、過去5年間で最高の受注高となった。
- 保守契約は、長期契約を獲得した前年に比べ減少するものの堅調に推移した。

(単位：百万円)



# 2015年3月期 第2四半期 品目別の売上高、受注残高

- **パッケージ：** 新規案件や既存ユーザーへの追加提案、賃貸借契約管理システムの新バージョンの導入が順調に伸び、売上、受注残ともに増加
- **保守：** 新規案件の獲得や保守継続から、売上、受注残ともに増加
- **受託開発：** 新規案件の獲得により売上は増加
- **運用管理等：** 顧客の予算の影響を受け売上は減少

(単位:百万円)

2015年3月期 第2四半期				
	売上高	前年同期比	受注残高	前年同期比
パッケージ	933	8.5%	918	13.9%
保守	543	13.4%	1,693	23.9%
受託開発	58	13.9%	26	▲7.3%
運用管理等	69	▲34.8%	16	254.5%
合計	1,605	7.2%	2,654	20.1%

# ProPlus シリーズ ラインナップ

固定資産、リース資産管理を中心に、お客様の資産管理、契約管理、販売管理に関するご要望にお応えできるソリューションをご用意しています。

## ■ ProPlus固定資産システム (Web版)

あらゆる業種・業態の企業にマッチする  
固定資産管理ノウハウを豊富に搭載

## ■ ProPlusリース資産管理システム (Web版)

契約/物件情報管理、支払管理、開示資料作成など  
リース管理業務全般を効率化



## ■ ProPlus建設仮勘定サブシステム (Web版)

建仮計上から精算までの煩雑な業務を効率化し、  
きめ細かな建仮管理を実現

## ■ ProPlus賃貸借契約管理システム (Web版)

店舗情報/賃借・賃貸・転貸契約情報/入出金情報/  
差入保証金償還などの一元管理により業務効率化を  
実現

## ■ ProPlus販売管理システム (Web版)

生産財を仕入販売する卸売業・情報サービス業に  
特化したパッケージシステム

## ■ 現物管理システムPit (SaaS)

スマートデバイスによるバーコード読み取り、  
画像による突合により棚卸作業を効率化

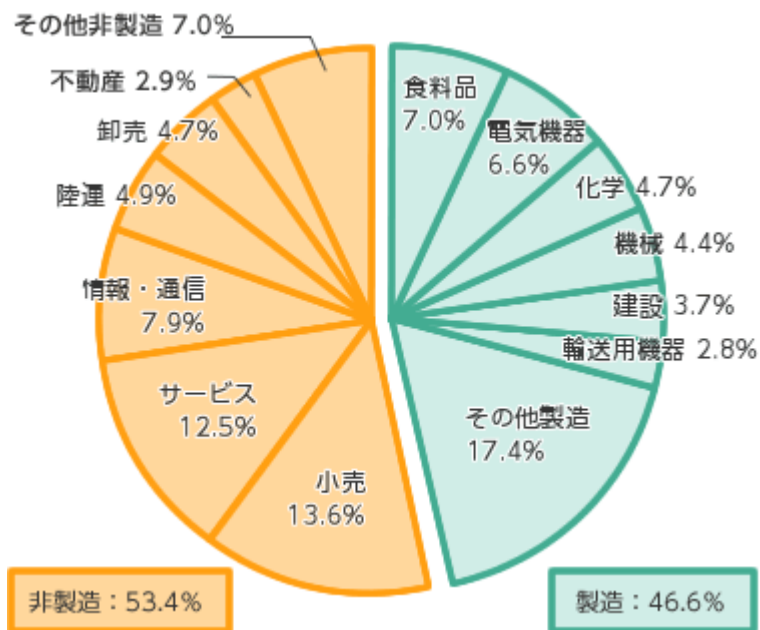
# ProPlus シリーズの導入実績

ProPlusは上場企業を中心に、あらゆる業種、業態、規模の企業に幅広く導入されています。

## ProPlusシリーズ 3,968社導入

(2014年9月30日現在)

### 【ProPlusの顧客業種】



※証券取引所の定める新業種区分 (33業種)

全ての企業に導入を頂いております。

業種	売上高ランキング におけるProPlus導入社数
食品業	上位20社中 11社
繊維製品	上位20社中 12社
化学	上位20社中 10社
小売業	上位20社中 11社
建設業	上位20社中 9社
鉄鋼	上位20社中 8社
情報通信業	上位20社中 8社
陸運業	上位16社中 7社
倉庫・運輸関連業	上位10社中 5社
不動産業	上位10社中 5社
電気機器	上位10社中 4社
精密機器	上位10社中 5社
非鉄金属	上位10社中 5社
ガラス・土石製品	上位5社中 2社
海運業	上位 5社中 3社
水産・農林業	上位 5社中 2社

シェア  
48.5%



# 当期の重点施策

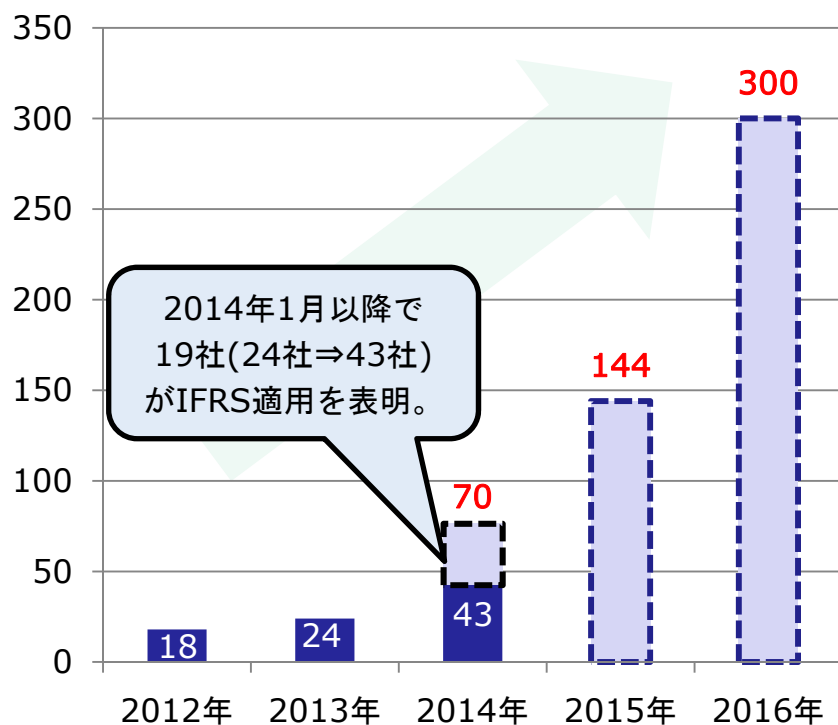
---

- **IFRS気運の高まりを背景とした新規顧客への導入**
- **業種特化型ソリューションの展開**
- **グローバル対応案件の獲得**
- **販売管理ソリューションの確立**
- **新ソリューションによる新市場開拓**

# IFRS気運の高まりを背景とした新規顧客への導入 IFRS任意適用社数の予測及び主な業種

IFRS任意適用社数は着実に増加しています。また業種毎にIFRS適用の特徴があります。

## 【IFRS任意適用社数（予測）】



金融庁より2016年までに任意適用企業を300社に増やす方針が出され2014年～2016年にかけてIFRS適用企業が増える事が想定される。

## 【任意適用企業の業種】

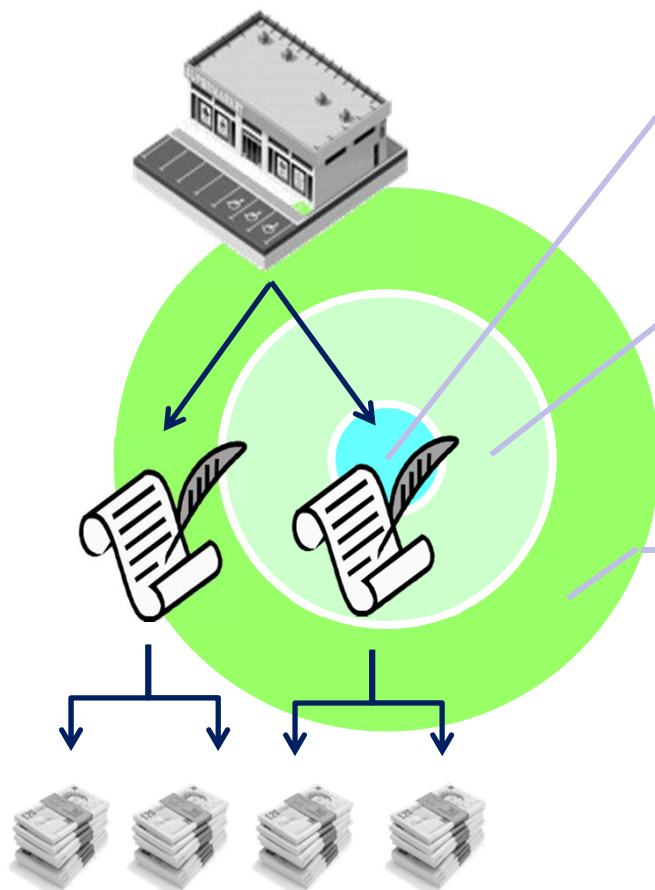
医薬品	9社。業界売上高上位6社は全てIFRS適用。
情報・通信サービス	8社。ソフトバンク、楽天、DeNAなどが適用。
総合商社	6社。業界売上高上位6社は全てIFRS適用。
電気機器	6社。富士通、セイコーエプソン、リコーなどが適用。
証券・金融	3社。SBI、日本取引所グループなどが適用。
小売	1社。ファーストリテイリングが2014年8月決算より適用。

# 業種特化型ソリューションの展開

## 賃貸借契約管理ソリューションの展開

多拠点展開企業様向けに、店舗に関する賃貸借契約管理業務を一元化及び効率化し戦略的な情報活用を実現！

### 【管理が必要な情報】



### ■ 導入における効果

#### 経営の視点

- ・内部統制強化、ガバナンス強化。
- ・セキュリティー強化（個人情報管理）
- ・経営戦略に必要なデータを即時キャッチアップ。

#### 会計の視点

- ・月次決算の早期化。
- ・グループ会社統一管理の実現。
- ・契約入力から支払処理までの一連の業務フロー確立。

#### 業務の視点

- ・支払業務の煩雑さを解消。
- ・属人化情報の一元化。
- ・部署間でのスムーズな情報連携の実現。

# グローバル対応案件の獲得

海外導入実績一覧(2014年9月現在)

14ヶ国で、51社の導入実績。

中国 (16件)		フィリピン (1件)		アメリカ (3件)	
台湾 (2件)		インドネシア (2件)		カナダ (1件)	
韓国 (2件)		マレーシア (7件)		メキシコ (2件)	
タイ (8件)		ベトナム (1件)		ブラジル (1件)	
シンガポール (3件)		インド (2件)			

# 販売管理ソリューションの確立

## ProPlus 保守管理システムの展開

情報を一元化により販売後の保守対応の精度とスピード向上を実現。  
顧客経験価値を高める新たなソリューションを提供していきます。

【お客様の声なき声】

連絡がこない・・・

連絡が遅い・・・

精度が悪い・・・

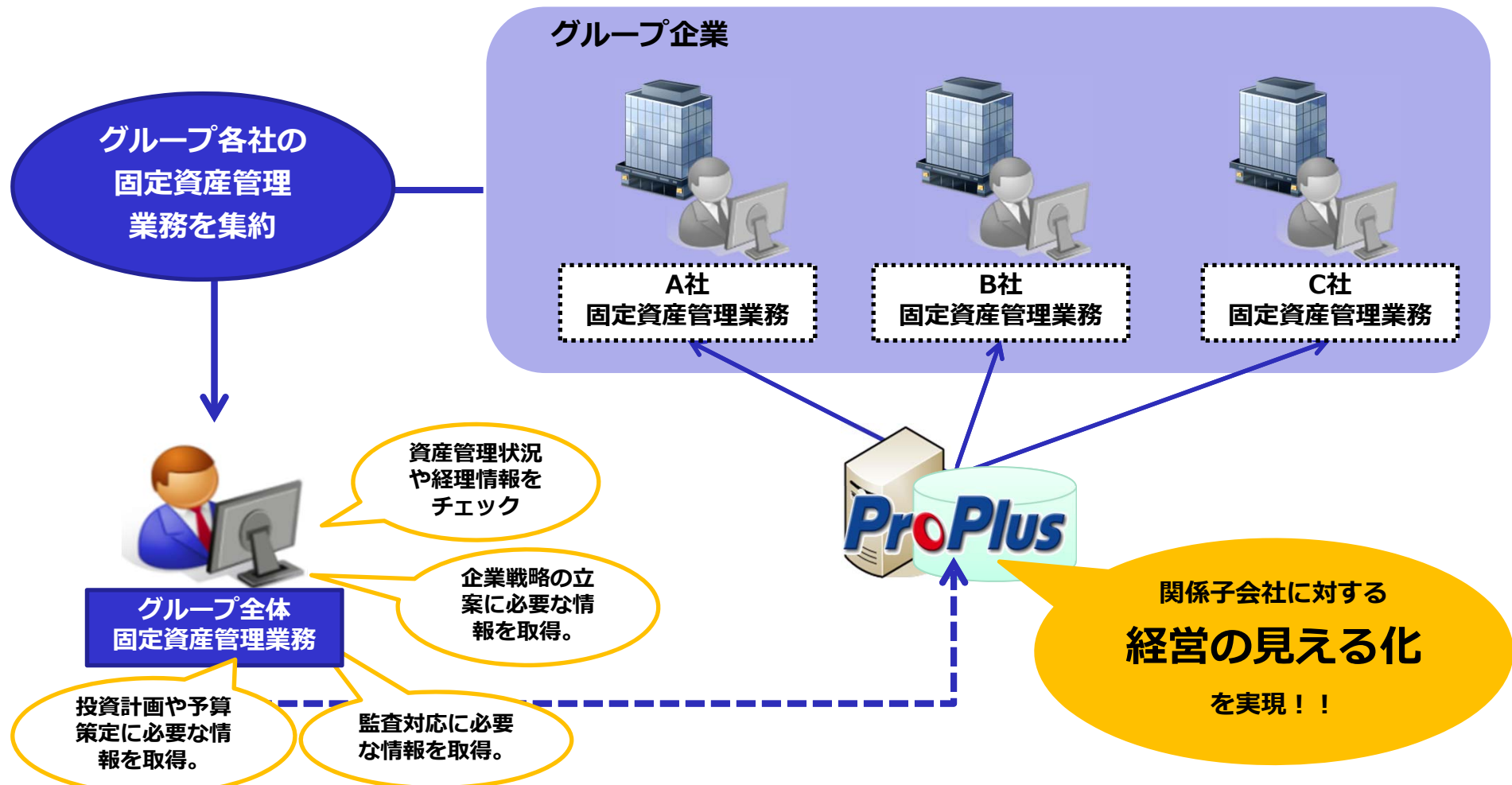


# 新ソリューションによる新市場開拓

## シェアードサービス会社向け新ソリューション

### 戦略的情報活用

連結決算や経営戦略の観点で、グループ会社の迅速・正確な情報収集は必須です。グループ全体の固定資産をProPlusで统一的に管理することで、決算業務の早期化・戦略的な情報活用を実現できます。



# 2015年3月期 業績予想

- IT投資意欲の前向きさから、受注の増加を見込む
- 期末にかけて開発のピークを迎えるため、外注費の増加を予定しており、通期の経常利益率は2Q時点より下がる見込み

(百万円)	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,544	5,500	1,956	55.2%
営業利益	958	1,365	407	42.5%
経常利益	962	1,375	413	42.9%
経常利益率	27.2%	25.0%	-	-
当期純利益	582	825	243	41.8%

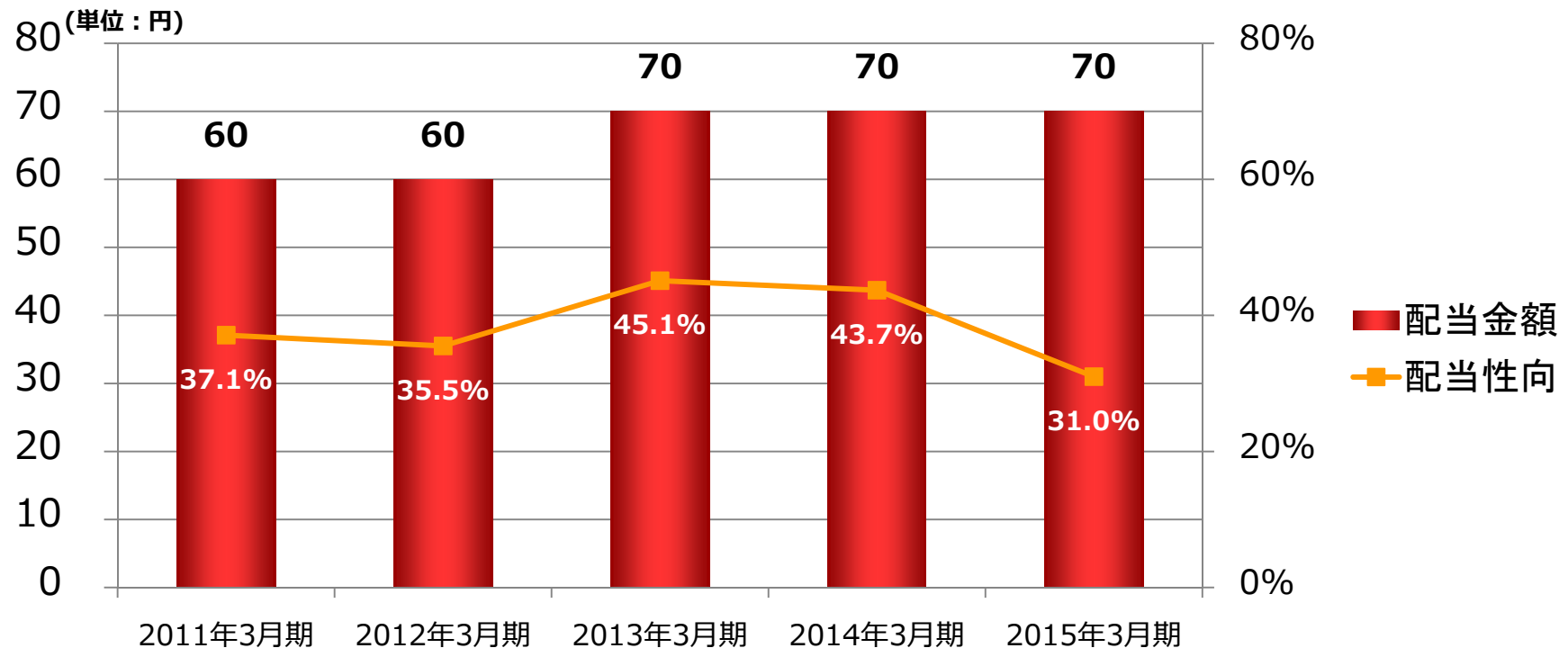
# 2015年3月期 配当予想

## ◆ 配当額の決定方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組む

**2015年度3月期 1株当たり70円を予定**

**1株当たり配当額** ※中間配当は実施していません。





---

# 本日はありがとうございました

**お問い合わせ先**

**株式会社プロシップ 管理本部**

**TEL : 03-5805-6121**

**Mail : [kanri@proship.co.jp](mailto:kanri@proship.co.jp)**

**HP : <http://www.proship.co.jp>**

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。